



ごあいさつ

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

組合員並びにお取引先の皆さまに当組合の経営内容をお伝えし、より一層のご理解を深めていただきたく本誌を作成いたしましたので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

当組合は昭和27年に創立以来、堅実・健全経営に努め、地域の皆さまから愛され親しまれ、信頼される金融機関を目指してまいりました。おかげさまで業容も健全性を確保し、今日の揺るぎない経営基盤を築きあげることができました。

これもひとえに皆さまのご支援の賜ものと深く感謝いたしております。

さて、平成28年度の我が国経済は、アベノミクスの取組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続きました。

ただ、年度前半には海外経済で弱さがみられたほか、国内経済についても、個人消費や民間設備投資は、所得、収益の伸びと比べ力強さを欠いた状況となりました。平成29年度は、雇用・所得環境が引続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれますが、リスクとして海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

また、県内の景気は、輸出や設備投資が増加しつつあり、緩やかに回復しているところですが、当組合の主要地盤では、人口減少や高齢化といった従来からの構造的な問題を抱え、取引先である中小・零細企業は、国内市場の縮小や人材不足、設備の老朽化など、様々な環境変化や課題も健在化してきている状況であります。

このような環境ではありますが、当組合はこれからも一層の健全経営に徹し、“夢あるくらしのパートナー”をモットーに地域の皆さまと共に歩み、地域と共に発展する信用組合を目指して役職員一同さらに努力を重ねてまいります。

今後とも尚一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

理 事 長 山本 英博